

奥出雲町観光案内

神話とたらの里ガイド

島根県奥出雲町。

中国山地の山あいにある、人口14,000人ほどの小さな町。

古事記、日本書紀に記載された「出雲神話始まりの地」。

今も世界で唯一たらの炎の燃える町。

清流と高原の気候がに冬をはじめ

美味しい食べ物を育ててきた。

四季折々に美しい町。

このパンフレットは、そんな奥出雲町を自由に周遊するためのものです。

さあ、でかけましましょう。

(それぞれの施設には駐車場が完備しています。)

《タクシーのご案内》

アイタクシー ☎0854-54-0181 C-2拡

△0854-56-0027 C-2

△0854-52-0267 E-2拡

△0854-57-0011 D-1

【お問い合わせ先】

奥出雲觀光文化協会

☎ 0854-54-2260

<http://www.okuizumogokochi.jp/>

ROAD MAP OKUIZUMO Town



奥出雲ごくじ
OKUIZUMO GOKOJI

<http://www.okuizumogokochi.jp/>

◆たら製鉄の町

粘土で築いた炉の中に砂鉄を入れ、木炭を燃料にし、ふいて風を送り鉄を得る日本古来の製鉄法を「たら製鉄」といいます。その歴史は古く、出雲国風土記(733年)の仁多郡(現在の奥出雲町とほぼ同一範囲)の項に、良質な鉄の産地であることが書かれています。

たら製鉄の最盛期は、江戸から明治時代の初めで、この時期に奥出雲町を含む中国山地一帯では全国の鉄の90%以上を生産していました。奥出雲町はその中心地域の一つでした。



奥出雲たらと刀剣館

奥出雲のたらの歴史や、現在唯一操業している「日刀保たら」(非公開)を映像や実物資料で紹介。圧巻は実物大のたらの地下構造模型。日本刀の鍛錬実演を公開(第2日、第4土の月2回)。

◆定休:月 ☎0854-52-2770 横田1380-1 E-2拡

(公財)絲原記念館／絲原家住宅・洗心乃路
松江藩鉄師頭取としてたら製鉄を営んだ絲原家。記念館にはたら資料や美術工芸品などを展示。住宅は国の登録有形文化財。出雲流の庭園、散策路「洗心乃路」も公開され、紅葉も美しい。

◆定休:無／不定休(年3回)
☎0854-52-0151 大谷856 D-2



日刀保たら

(公財)日本美術刀剣保存協会が、1977(S52)年に日本刀の材料となる「玉鋼」の安定供給と、日本古来の製鉄技術の保存・伝承を目的に復活させた。日立金属安来製作所鳥上木炭銑工場の敷地内にある。(非公開)

E-2

(公財)可部屋集成館／櫻井家住宅

戦国武将堀田右衛門の末裔家である櫻井家。松江藩鉄師頭取として、たら製鉄を営んだ。住宅は国の重要文化財。庭園には松平不昧公が命名した滝「浪」がある。集成館にはたら資料や美術工芸品を展示。

◆定休:月／冬季休館
☎0854-56-0800 上阿井1655 B-4

たら角炉伝承館
耐火レンガ製の炉で砂鉄と木炭から鉄を生産した「角炉」。たら製鉄から洋式溶鉱炉への移行期の技術を知ることができます。

上阿井1325-6 B-3

はないだにかななが
羽内谷鉄穴流し本場
たら製鉄に使う砂鉄を比重選鉱で採取する施設で、1972(S47)年まで稼働していた。往時の砂鉄採取法を知る貴重な産業遺跡。町指定文化財。

竹崎1879-7 F-2



大原新田(日本棚田百選)

鐵師絲原家が、江戸時代に鉄穴流しの手法により開墾した棚田。展望台も整備されている。近くには、県指定天然記念物「湯の廻キャラボク」もある。

D-3

ぼくち ト蔵庭園

松江藩五鉄師の一つ蔵家の旧宅跡に残された庭園。神話の山船通山を借景とし、江戸初期に作庭された池泉式庭園(町指定文化財)。園内には、そば処椿庵もある。

(椿庵)☎0854-52-3007 竹崎800 F-2

神話とたらの里ガイド

◆神話の里

古事記や日本書紀によると、高天原を追放されたスサノオノミコトは、出雲国の肥河(斐伊川)の上流の鳥髪(鳥上)の地に降臨、イナタヒメ(クシナダヒメ)に出会います。ここから有名なヤマタノオロチ退治の物語が始まります。

また、出雲国風土記には、タマヒメをひたすら恋い慕うワニの話~鬼の舌震(恋山)~など様々な伝承が残っています。奥出雲はまさに「神話の里」なのです。



鬼の舌震(恋山)と舌震の“恋”吊橋

出雲国風土記には「恋山」と記述され、タマヒメと姫を恋慕うワニ(サメ)の物語が地名の由来。伝説にちなみ「舌震の“恋”吊橋(全長160m・高さ45m)」を渡ると、バリアフリーの遊歩道へと続き、自然を満喫できる。紅葉も美しい。国の名勝及び天然記念物。

高尾 C-2



稻田神社

稻作の女神イナタヒメ(クシナダヒメ)を祀る。建物は町指定文化財。周辺には「産湯の池」や「笠宮」などもある。社務所では、そばを楽しむことができる。

☎0854-52-2560 稲原2128-1 E-2

◆ 奥出雲美肌温泉郷

奥出雲には斐乃上温泉、亀嵩温泉、そして佐白温泉と三つの温泉があります。それそれにアルカリ度数(ph値)が高く、ツルツルした美肌効果が期待できます。この三つの温泉を「奥出雲美肌温泉郷」と呼んでいます。宿泊だけでなくそれぞれに日帰り入浴や食事ができます。



斐乃上温泉 斐乃上荘／民宿たなべ
オロチ退治の舞台、船通山の麓にある。美肌温泉郷の中でもph値が9.9と最も高く、嬉野温泉(佐賀県)、喜連川温泉(栃木県)とならび、「日本三大美肌の湯」に選定。

(斐乃上荘) ☎0854-52-0234 竹崎1843-2
(たなべ) 定休:水 ☎0854-52-0930 竹崎1844 F-2



亀嵩温泉 玉峰山莊

玉作りの神が宿る玉峰山の麓に湧く温泉。施設も充実しており、家族風呂や天降石のサンドバスも人気。近くには松本清張の『砂の器』の舞台となった「湯野神社」がある。

☎0854-57-0800 亀嵩3609-1 E-1



佐白温泉 長者の湯

さくらおろち湖への入口にある。地下1200メートルの深層から湧き出るミネラル豊富でph9.8の肌に優しい温泉。食事どころ「八重垣」では地元産の平飼い卵の「卵かけご飯」が味わえる。

☎0854-54-0203 佐白223-5 C-1

◆ 奥出雲を見る

宇宙の歴史やそろばんの歴史って学べる資料館もあります。

四季折々の美しい風景、人々の暮らしとともに特徴的な建築物。奥出雲では色々な楽しみ方ができます。



(公財)奥出雲多根自然博物館

「宇宙の進化と生命の歴史」をテーマとし、宿泊もできる博物館。恐竜の骨格標本や化石・原石などの豊富なコレクションを展示するほか、JAXAなどの最新情報にふれることもできる。

◆定休:火 ☎0854-54-0003 佐白236-1 C-1



奥出雲鉄の彫刻美術館

ニューヨークを中心に活動した鉄の彫刻家 下田治(1924-2000)の作品を展示・収蔵する美術館。併設の奥出雲のごだわりを集めたショップや高原カフェも人気。

◆定休:月 ☎0854-52-3122 八川2500-34 E-4



雲州そろばん伝統産業会館(そろばん資料館)／そろばんと工芸の館
JR出雲横田駅に接する資料館にはそろばんの歴史や製造工程、名工の作品などを展示。R314沿いのそろばんと工芸の館ではそろばん作りの見学ができ、製作体験も可(要予約)。

(伝産会) 定休:月 ☎0854-52-0369 横田992-2
☎0854-52-0839 下横田76-5 E-2拡



三沢城跡とみざわの館

戦国武将・三澤氏の居城、標高418.5m。中国山地から日本海まで360度のパノラマが楽しめる。出雲国風土記ゆかりの「三沢の池」もある。「みざわの館」では休息、食事、宿泊も可能。(要予約)

☎0854-54-1060 河内36 B-2



金言寺の大イチヨウ

萱葺の本堂脇に立つ樹齢400年、高さ33mの巨木。黄色の葉が風に舞い、屋根や地面につむる。ライトアップにより、田んぼに写った姿も美しい。しまね景観賞大賞受賞。

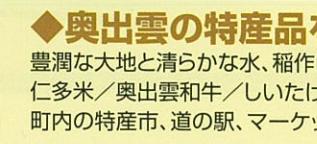
☎0854-53-0480 大馬木1060 D-4



横田相愛教会

救世軍横田小隊会館として1920(大正12)年に竣工。塔屋は木造4階建。文化的繁栄と歴史を感じることが出来る象徴的な建物。国の登録有形文化財。

横田924 E-2拡



◆ 奥出雲の特産品を買う

豊潤な大地と清らかな水、稲作に適した気候は奥出雲の特産品を生み育てました。

仁多米／奥出雲和牛／しいたけ／まいたけ／トマト／そして地酒などなど。

町内の特産市、道の駅、マーケットそして蔵元でお求めいただけます。

仁多特産市

C-2拡

E-2拡

E-4

E-1

奥出雲舞茸直販施設

E-3

横田蔵市

E-2拡

道の駅奥出雲交流館

E-2拡

E-1